

平成30年度

税務概要

春日井市

目 次

1	春日井市のあらまし	
(1)	沿革	1
(2)	位置・面積	1
(3)	都市宣言	1
(4)	春日井市民の誓い	2
(5)	市章	2
(6)	市の木・市の花	2
(7)	人口・世帯の推移	3
2	税務機構その他	
(1)	税務機構と事務分掌	4
(2)	税務職員人員配置	6
(3)	税務職員経験年数調	6
3	財政	
(1)	歳入決算の推移	7
(2)	歳出決算の推移	8
(3)	平成29年度一般会計決算額構成図	9
(4)	一般会計決算額と市税の推移	10
(5)	平成30年度歳入歳出当初予算	11
(6)	平成30年度一般会計当初予算額構成図	12
4	市税	
(1)	平成30年度市税当初予算	13
(2)	平成29年度市税決算額	14
①	現年課税分	14
②	滞納繰越分	14
③	国民健康保険税	14
④	(①+②+③)	14
(3)	市税年度別決算状況	15
(4)	市税決算額と前年比伸び率の推移	16
(5)	市税収入済額の推移	17
(6)	市税の市民負担額の推移	18
(7)	国民健康保険税・収入額等の推移	19
(8)	徴税費に関する調	20
5	市税課税状況	
(1)	市民税(個人)	21
①	平成30年度所得者別所得割額調	21
②	特別徴収指定事業所数	21
③	平成30年度段階別課税標準額及び段階別所得割額調	22
④	平成30年度課税標準額段階別構成図	23
⑤	年度別所得控除等の人員対比表	24

(2) 市民税（法人）	25
① 税率（年額）	25
② 年度別課税状況	25
③ 法人数（均等割・段階別）	25
④ 法人市民税賦課状況の推移（過年度分を除く）	26
(3) 固定資産税・都市計画税	27
① 税率等	27
② 平成30年度固定資産税の概要	27
③ 平成30年度都市計画税の概要	28
④ 調定額調（現年課税分）	28
⑤ 固定資産税・都市計画税調定額の推移	29
⑥ 固定資産評価状況（概要調書）	30
⑦ 償却資産評価状況（概要調書）	32
⑧ 国有資産等所在市町村交付金	33
(4) 軽自動車税	34
① 年度別賦課状況調	34
② 車種別課税台数の推移	35
(5) 市たばこ税	36
(6) 事業所税	37
6 収納	
(1) 収納率の推移	38
(2) 納付手段別の収納状況	38
(3) 差押件数（換価件数）	38
(4) 不納欠損処分額の推移	39
(5) 滞納処分執行停止額の推移	39
(6) 平成29年度分納誓約、証券受託、徴収猶予及び換価猶予の納付状況	40
7 国民健康保険税	
(1) 予算の状況	41
(2) 年度別国民健康保険税賦課状況	43
(3) 平成30年度国民健康保険税賦課状況（医療分）	44
(4) 平成30年度国民健康保険税賦課状況（後期高齢者支援分）	45
(5) 平成30年度国民健康保険税賦課状況（介護分）	46
(6) 国民健康保険加入世帯・所得割・資産割世帯の推移	47

1 春日井市のあらまし

(1) 沿革

本市が位置する地域は、庄内川に沿って発達したもので、石器その他の出土品により、先史時代から人々が居住していたと思われます。市内には、二子山古墳、高御堂古墳など多くの古墳が残存し、内津、神屋、明知、御手洗など日本武尊にゆかりの地名、伝説も多く、大和王権の文化がこの地におよんでいたことをうかがわせます。

また、上条、下条といった地名は、条里制の名残りと考えられ、古代より、集落が形成されていたと思われます。古代末期から中世にかけて篠木荘、柏井荘など荘園が置かれ、江戸時代には、北部は犬山藩、南部は尾張藩に属していました。近世に入って、大池や落合池の築造、新木津用水、高貝用水の開さくなどの治水事業が行われ、新田開発が進みました。

市制の施行は、昭和18年6月1日で、太平洋戦争のさなかに、勝川町、鳥居松村、篠木村、鷹来村の4か町村が合併し、鳥居松工しょう、鷹来工しょうを擁する軍需産業都市として誕生しました。しかし、終戦により、農業の奨励や工場の誘致などに努力し、昭和25年、王子製紙春日井工場の誘致を機に、内陸工業都市として歩み始めました。

昭和33年1月には、新市町村建設促進法に基づき、高蔵寺町(23.86km²)と坂下町(21.26km²)を合併し、人口7万人余、面積93.03km²(平成2年国土地理院による面積修正で92.71km²に変更)の都市となりました。昭和30年代後半に入り、土地区画整理事業の推進、高蔵寺ニュータウンの建設が始まり、この頃から、住宅都市としての性格が強まってきました。このため、良好な居住環境の形成に重点をおいた都市づくりを進め、平成5年には、市制施行50周年を迎えました。平成13年4月には特例市となり、人口30万人を擁する中部圏の中堅都市として発展してきました。これまでの生活都市としての基盤を継承しつつ、第六次総合計画では、「暮らしやすさと幸せをつなぐまちかすがい」を将来像に掲げ、その実現に向けてまちづくりに取り組み、着実な前進を続けています。

(2) 位置・面積

本市は名古屋都市圏の北東部にあって、市役所の位置で東経136度58分20秒、北緯35度14分51秒、海拔24mで、名古屋市、小牧市、犬山市、瀬戸市、西春日井郡豊山町、岐阜県多治見市に接し、気候は一般に温暖です。

市域は東西15.7km、南北13.7kmで、その面積は92.78km²です。(面積は、平成26年に国土地理院が計測の基礎となる地図を2万5千分1地形図から電子国土基本図に切り替え、面積の精度が向上したことにより、92.71km²から修正されました。)

(3) 都市宣言

- ◇ 交通安全都市 (昭和37年1月24日)
縦横に国道などが走る本市では、特に児童の登下校時の安全を守るなど、交通禍の撲滅を期して強力な事故防止の施策を進めます。
- ◇ 明るく正しい選挙都市 (昭和38年1月19日)
明るく正しい選挙を実現することにより、民主政治の健全な発展を進めます。
- ◇ 明るく育つ青少年都市 (昭和41年3月30日)
あすの世代を担う青少年が正しく、明るく、すこやかに育つよう、家庭・学校・職場・地域ぐるみで青少年の健全育成を進めます。
- ◇ 緑化都市 (昭和42年12月18日)
市民が一体となって、失われてゆく緑をとりもどし、美しい自然を守り、緑化運動を強力に推進し、緑の希望あふれる都市づくりを進めます。
- ◇ 健康都市 (平成2年2月27日)
一人ひとりが健康の輪を広げ、健康で明るく活力ある都市・春日井を築くため、市民の総合的な健康づくりを進めます。
- ◇ 環境都市 (平成13年9月28日)
「みろくの森から道風の里まで 蛙の合唱消えぬ道 暮らしと出会いを大切にするまち」を共通の想いとし、市民、事業者及び市が一体となって、環境都市春日井の実現をめざします。
- ◇ 平和都市 (平成27年9月29日)
恒久平和と戦争のない社会の実現を願い、平和都市を宣言します。

◇ 文化・スポーツ都市（平成29年3月14日）

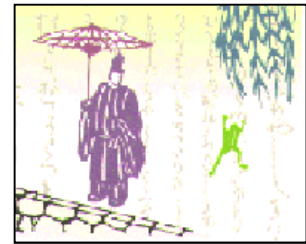
文化やスポーツの持つ力を改めて認識しつつ、市民、企業等及び市が一体となって、明るく心豊かで活力あるまちをめざします。

(4) 春日井市民の誓い

私たちのまち春日井は、道風の遺業をはじめ多くの古い文化をもち、明日をめざす若々しい力があふれる青年都市です。

すべての市民が郷土春日井を愛し、連帯の輪をひろげ、明るく住みよいまちづくりをめざして、ここに五つの誓いを定めます。

- みんなで緑を育て 自然を守ろう
- すすんでからだをきたえ いのちを大切にしよう
- お互いに時間とルールを守ろう
- こころにゆとりをもち 清新な文化をきずこう
- 勤労をとうとび 豊かなくらしをめざそう

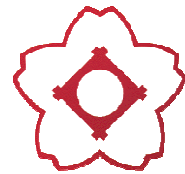


(5) 市章

市章の由来

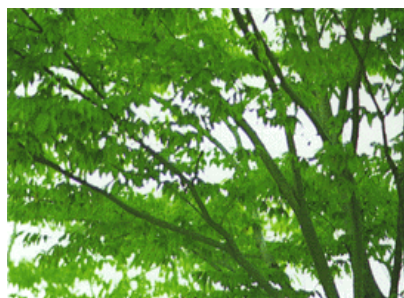
昭和18年6月1日の市制施行を記念して一般から募集し、制定されました。

市章の外わくは、平和な桜花で「春」を、中央の日の丸は太陽のごとく燃え盛り永久に発展する「日」を、「井」は合併した町村が永遠に手を結びあっていく市民の協和を表しています。

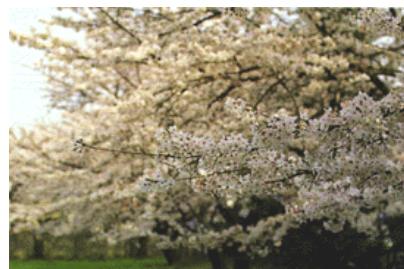


(6) 市の木・市の花

市の木「けやき」（昭和43年12月選定）



市の花「さくら」（昭和48年5月選定）



(7) 人口・世帯の推移

(各年12月末日現在)

年	区分 面積 km ²	世帯数	人 口			1世帯 平均	備 考
			総数	男	女		
昭和18年	47.91	7,786	53,709	27,756	25,953	6.9	市制施行 高蔵寺町・坂下町編入
20年	〃	9,288	62,174	32,442	29,732	6.7	
30年	〃	10,989	53,438	26,617	26,821	4.9	
33年	93.03	14,592	73,051	36,054	36,997	5.0	
40年	〃	28,928	118,577	60,564	58,013	4.1	
50年	〃	65,600	215,450	109,642	105,808	3.3	
55年	〃	73,650	244,919	123,743	121,176	3.3	
60年	〃	77,915	258,432	129,687	128,745	3.3	
平成 2年	92.71	85,530	268,263	134,724	133,539	3.1	
7年	〃	96,550	280,285	140,891	139,394	2.9	
11年	〃	104,977	288,980	145,000	143,980	2.8	
15年	〃	112,929	297,775	149,130	148,645	2.6	
17年	〃	116,621	300,924	150,843	150,081	2.6	
19年	〃	120,877	305,239	152,834	152,405	2.5	面積変更
21年	〃	124,212	307,746	153,793	153,953	2.5	
23年	〃	126,558	308,924	154,157	154,767	2.4	
25年	〃	128,486	309,854	154,267	155,587	2.4	
26年	92.78	130,133	310,495	154,691	155,804	2.4	
28年	〃	133,237	311,708	155,055	156,653	2.3	
29年	〃	134,465	311,608	155,128	156,480	2.3	
30年	〃	135,826	311,972	155,260	156,712	2.3	平成30年8月末日現在

